

“遠隔授業を活用した科目に対する質保証システム”

1. 開催の趣旨：

近年、コロナ感染症対策に見られる学生生活の大幅な制限やこれに伴う遠隔授業の急速な拡大など、大学の置かれた環境は大きく変化しております。

本ワークショップシリーズではこれまでに、有効な教育の質保証システムを構築する際の各構成要素のあるべき姿について、講演とワークショップを通して学んで来ました。教育目標に設定された知識・能力を設定された水準以上で学生に身に付けさせるには、その達成度評価とともに教育内容・手法を含めて質の保証・向上を図るというものであり、これらは対面授業を前提としたものでした。

今回の研修では、遠隔授業を活用した各科目において、設定された教育効果を上げるために必要な質保証システムについて学びます。

大学教育を取り巻く環境は大きく変化しております。学修者本位の観点から大学が創意工夫に基づく教育研究活動を行ううえで、最低限保証すべき質を担保しつつも先導性・先進性のある質保証システムとしていく必要があります。

今回は、3つの立場・立ち位置から、“遠隔授業を活用した科目に対する質保証システム”をテーマとした講演をオンラインにて開催します。本研修では、「質保証システム審査からみた遠隔授業」「質保証システムの国際的動向からみた遠隔授業」「質保証システム運営からみた遠隔授業」、特に「**遠隔授業での質保証の取組に悩みをもつ先生**」を対象として、学生に身に付けさせる知識・能力に対する質保証のあり方の極意とその応用を体得していきます。

これまでの講演やワークショップなどを受講していない方にも役立てていただける内容ですので、多数のご参加をお待ちしております。

2. 開催日時： 2022年3月26日（土）13:30～16:00

3. 会場： オンライン開催

4. プログラム： 別紙

5. 主催： 一般社団法人日本技術者教育認定機構(JABEE)、公益社団法人日本工学教育協会〈共催〉

6. 後援： 文部科学省、経済産業省（申請中）

7. 募集人員： 50名（先着順受付）協会 Web サイトにて一般にも公開します。

8. 申込方法： 下記サイトより申込ください。参加受付後に事務局より参加詳細をお送りします。

<https://forms.gle/VdFw9wU66sGTLmwH8>

9. 申込期限： 2022年3月23日（水）

10. 参加費： 無料

11. 継続教育ポイント対象講座： 教育士（工学・技術）の方には出席1ポイント/h+参加5ポイント（全日出席の場合、合計8ポイント）が付与されます。

12. 連絡先： 日工教事務局

（担当 京谷美代子(kyoya@jsee.or.jp tel:03-5442-1021 Fax 03-5442-0241)

**JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第16回」
“遠隔授業を活用した科目に対する質保証システム”プログラム**

対面で意見交換ができると好評のワークショップですが、今回はオンライン開催と致しますので、講演と質疑の形で進めさせていただきます。

日程：2022年3月26日(土) オンライン開催

13:15 受付開始

13:30 司会者挨拶

市坪 誠（豊橋技術科学大学 高専連携推進センター 教授）

13:40 「技術者教育プログラムの質保証について」

岸本 喜久雄（JABEE 副会長、東京工業大学名誉教授）

JABEE は国際エンジニアリング連合などにおける国際協定の加盟団体として、22年にわたり高等教育機関における教育プログラムを「技術者に求められる知識と能力」などの観点から審査し、認定してきた。国際エンジニアリング連合では、持続可能な社会の実現など、技術者が果たすべき役割が変化してきたことを受けて、技術者が将来に渡って社会に貢献していくために必要な知識と態度について議論が行われた。この内容について紹介するとともに、修了生の学修達成度を評価し、教育改善に活かすための「Tuning テスト問題バンク」の活動について紹介する。

14:25 「国際動向：オンライン国際協働学習（COIL）、ブレンド型教育の成熟度モデル、マイクロレデンシャル」

井上 雅裕（日本工学教育協会理事、国際委員長
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント
研究科 特任教授）

遠隔授業を活用した教育の質保証の国際動向として、まず、コロナ禍における国際連携授業として導入が進んだオンライン国際協働学習（COIL: Collaborative Online International Learning）を取り上げ、その事例としてグローバル PBL 示し、質保証の取り組みを紹介する。次に、対面とオンラインを組み合わせるブレンド型（ハイブリッド型とも呼ぶ）教育の質保証の枠組みとしてブレンド型教育の欧州成熟度モデルを紹介する。最後に現在、世界各国で注目されている学位より小さな学習単位としてのマイクロレデンシャルとその質保証の課題を述べる。

15:10 「コロナ禍における本学工学部での遠隔授業の取組みと JABEE の一斉受審を振り返って」

松田 健次（九州工業大学大学院工学研究院
機械知能工学研究系 教授
副研究院長（副工学部長）

緊急事態宣言への対応に始まった2020年度と、感染の拡大が続いた2021年度は、学年歴や、授業実施方法、就職支援、入学試験実施方法等、様々な事項の見直しが必要になった。本講演では、その中でも特に重要な課題であった、座学、実験、実習科目における遠隔授業の本学工学部での取組みを紹介させていただくとともに、工学部の5学科6プログラムがリモートで受審した2020年度 JABEE の一斉審査を振り返る。

15:55 総括・全体に関する質疑

16:20 主催者挨拶

雑賀 高（JABEE 理事、日本工学教育協会理事
工学院大学先進工学部 教授）

16:30 終了

注： ※ 開始、終了時間以外の途中の時間は多少前後する可能性があります。
※ 都合により時間が一部変更になることがありますので予めご了承ください。

以上